

平和教育の取組事例報告書

報告年月日 令和4年6月1日
 都市名・国 茨城県那珂市・日本

取組の名称	平和祈念 広島原爆パネル展
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ()
テーマ・目的	幅広い世代の方に、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える。また、子どもたちへ学習機会を提供する。
対象者 (年齢・学年、人数等)	市民ほか (例:12歳の子ども60名、保護者や市民30人など)
実施場所	那珂市立図書館
実施期間	令和3年8月5日～令和3年8月5日(1日間) ※例年8月に実施している。
<p>取組の概要(授業、イベントはプログラムの次第を、その他(例:コンテスト等)はそのプロセスを、具体的に記入してください。)</p> <p>市では「核兵器廃絶・平和市宣言」をしており、平和行政を推進している。幅広い世代の方に、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えるため、毎年8月にパネル展を開催している。</p> <p>令和3年度は、広島平和記念資料館の「被爆体験証言者と高校生との共同制作による原爆の絵」のパネルを展示した。</p> <p>開催期間は8月5日～8月26日を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、展示施設の利用が制限されることとなったため、1日間のみの開催となった。</p>	
<p>参加者の反応</p> <p>絵を見たことで、戦争の恐ろしさや悲しさ、平和の大切さを再確認することができたという意見をいただきました。</p> <p>また、絵だけでなく、原爆で焼けた服など、現場にあったものを展示するほうが、戦争の怖さを実感できるのではないかという意見もいただきました。</p>	
<p>成果</p> <p>1日間のみの開催となってしまったが、「平和の大切さを改めて感じた」、「二度と戦争をしたくない」という感想が見られ、この企画の目標が達成できた。</p>	
<p>課題</p> <p>展示する資料についての意見もいくつかあったため、今後の展示資料や展示方法などを検討し、より多くの市民が関心を持ち、足を運ぶような展示を企画したい。</p>	
<p>取組で使用した素材について(図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。)</p> <p>広島平和記念資料館「被爆体験証言者と高校生との共同制作による原爆の絵」</p>	
<p>上記素材の共有の可否(取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。)</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能(素材を添付してください) <input checked="" type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	

※ 画像等の資料がある場合はメールに添付して提出してください。